

ビヨンド・ミート(BYND)

中国のシノディズやアリババ集団と提携。代替肉のパイオニアが海外の巨大市場へ積極的に進出へ

ナスダック | 加工食品 | 業績フォロー

BLOOMBERG BYND US | REUTERS BYND.N

- 2020/12期1Q(1-3月)は、売上高が前年同期比2.4倍の9,710万USD、純利益が▲665万USDから182万USDへ黒字転換。
- 中国輸入食品大手シノディズに続き、ネット通販最大手のアリババ集団と提携。中国をはじめ、海外市場への更なる進出が期待される。
- 世界の代替肉市場は2020年メーカー出荷額見通しの2,572億円に対し2025年に6,732億円、2030年に1兆8,723億円まで拡大との見通し。

What is the news ?

5/5発表の2020/12期1Q(1-3月)は、売上高が前年同期比2.4倍の9,710万USD、純利益が▲665万USDから182万USDへ黒字転換。赤字転落との市場予想に対し、黒字決算のサプライズとなった。コロナ禍に伴う都市封鎖を受けて、飲食店向け事業は3月後半に入り大きく減速したが、1Q合計では飲食店の取り扱い件数が同18.4%増となったことが奏功し、飲食店向けが同2.5倍増収の2,263万USDとなった。小売店向けは1Q最後の4週間で買いたが膨らみ、前年比1.5倍増の4,992万USDとなった。ナチュラルプロダクト市場の調査会社SPINSによると、2020年3月22日まで3ヶ月間の全米マルチアウトレットの自然食品・健康付加価値食品流通ルートで代替肉の販売数が前年同期比54%増加。同期間における代替肉のベストセラーのトップ4を同社ブランドが独占し、市場シェアが昨年から770bps上昇した。

小売販路が海外にも拡大し、国際事業が前年同期比2倍の2,452万USDとなった。また、販売量増加に伴う粗利率の上昇が販管費増加を吸収し、純利益のほか営業利益も前年同期の▲530万USDから181万USDと黒字転換した。

How do we view this ?

コロナ禍の影響が不確実であるため2020/12通期の業績見通しを見送った。同社を巡る業務提携の動きが相次いでおり、6/9に中国輸入食品大手のシノディズとの戦略的提携を発表。シノディズは中国で4,500社以上の卸売り業者、レストランチェーン、ホテルに輸入食品を販売している。7/1には中国ネット通販最大手のアリババ集団とも提携が決まり、上海にあるアリババ傘下の生鮮スーパー「盒馬鮮生(フーマー・フレッシュ)」の50店舗で販売を開始。今後は北京や杭州などの大都市にも展開予定。更なる海外市場への進出が今後の成長の原動力となろう。

一方で、カナダのマクドナルドで2019年9月から進められた同社の「P.L.T」バーガーの試験販売が終了し正式導入が見送られたほか、米スターバックスが競合のインポッシブル・フーズと提携し代替肉のサンドイッチ販売に乗り出すなど、一部には懸念材料がみられる模様だ。

矢野経済研究所の市場調査によれば、2020年の世界メーカー代替肉出荷額見通し2,572億円に対し、2025年に6,732億円、2030年に1兆8,723億円まで拡大の見通しであり、業績の中長期的な成長を下支えする基盤となろう。

業績推移

※参考レート 1USD=107.35円

事業年度	2017/12	2018/12	2019/12	2020/12F	2021/12F
売上高(百万USD)	32	87	297	459	700
当期利益(百万USD)	-30	-29	-12	8	34
EPS(USD)	-5.57	-4.75	-0.29	0.15	0.58
PER(倍)	-	-	-	953.33	246.55
BPS(USD)	-16.76	-17.51	6.24	7.21	8.78
PBR(倍)	-	-	22.92	19.83	16.29
配当(USD)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
配当利回り(%)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(USD) **0.00** (予想はBloomberg)
 終値(USD) **143.00** 2020/7/6

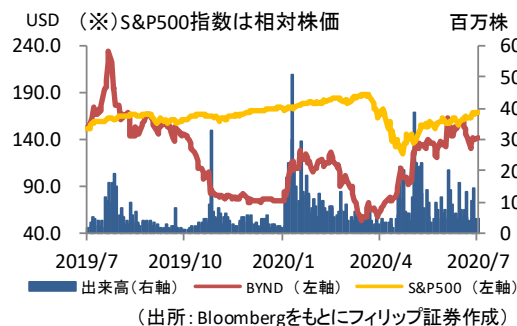
会社概要

2009年に設立された植物由来の代替肉を製造・開発するアメリカの食品テクノロジー企業。2019年5月にナスダックに上場。植物由来のタンパク質、具体的にはエンドウ豆、ココナッツオイル等の素材を分子レベルで代替肉に置き換える仕組みにより肉と変わらない食感を実現している。代表的なブランドはビヨンド・バーガー、ビヨンド・ソーセージなどがある。

同社は主にホールフーズ、ウォルマートなどの小売店経由での販売、およびカールス・ジュニア、KFC、マクドナルドといったレストランへの提供といった2つの販売チャンネルで事業を展開している。販売地域は、主に米国・カナダ、ヨーロッパであるが、直近では中国にも進出。2020年6月以降、中国の輸入食品大手のシノディズ、およびネット通販最大手のアリババ集団と提携を実現した。

企業データ(2020/7/7)

ベータ値	-
時価総額(百万USD)	8,900
企業価値=EV(百万USD)	8,697
3ヵ月平均売買代金(百万USD)	1,224.4



主要株主(2020/6)

1.OBVIOUS VENTURES	7.17
2.DNS CAPITAL	6.09
3.KLEINER PERKINS	5.49

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

李一承
 icheng.lee@phillip.co.jp
 +81 3 3666 0707

笹木和弘
 kazhiro.sasaki@phillip.co.jp
 +81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘
リサーチ部 李 一承

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>